

■矢次一夫 政界黒幕。大労働爭議決着で軍・政・労働界を結集し国策に関与、<敗戦>後も、国策研究会再建し暗躍。

やつぎかずお

Bushidou・ 1899 = 大阪で、佐賀県出身の記者で医師の矢次作市の長男に生まれる。

教科書疑獄・ 1902 = 3歳：母が死去。以後、佐賀の祖父のもとで育てられる。

日露戦争終・ 1905 = 6歳：

アサヒ 創刊・ 1908 = 9歳：

明治天皇没・ 1912 = 13歳：各地を転々として10年ぶりに故郷に戻ってきた父の後妻と合わず、

第一次大戦始・ 1914 = 15歳：高等小学校を卒業すると、家出し、小倉で周旋人にだまされて、八幡製鉄所の人夫部屋に送り込まれ、まもなく脱走するも、

ロシア革命・ 1917 = 18歳：仲間のだまされ、大阪鉄工所因ノ島工場の人夫部屋に送り込まれる。

徴兵検査で帰郷したところを父に見つかって、家に連れ戻され、悶々と暮らすうち、

学問への情熱が湧き、父を説得して、上京、結局住み込み人夫となるが、近くの満鉄調査局の大川周明の知遇得て、{猶存社}に出入り、アナキズムにも飽き足らず、転々とした後、労使協調のための財団法人{協調会}に入社、

水平社結成・ 1922 = 23歳：激烈になっていた野田醤油爭議の調停にあたり、労使双方から信頼得て決着させ、自信を得たことから、

治安維持法・ 1925 = 26歳：{協調会}を辞め、労働事情調査所を設立、

円本時代始・ 1926 = 27歳：*共同印刷・日本楽器の大爭議を調停した。

軍部・政治家・労働運動家の間に多くの知己を持ち、これらの人々を結集して、総合的な国策を立案することを意図し、

満州事変・ 1931 = 32歳：

五一五事件・ 1932 = 33歳：麻生久らと{水曜会}を結成し、満州事変後の対応を論議、

国際連盟脱退・ 1933 = 34歳：_国策研究同志会に改組、

芥川直木賞始・ 1935 = 36歳：

日中戦争始・ 1937 = 38歳：*国策研究会が発足すると、事務局長として主宰、

_研究会では、電力国家管理法案・健康保険法改正案など、実際の立法にコミットし、

日米開戦・ 1941 = 42歳：

_その後、自ら企画院委員、大政翼賛会参与、翼賛政治会理事などを歴任、戦時内閣の組閣を助けた。

年金+総武装・ 1944 = 45歳：

敗戦・ 1945 = 46歳：_敗戦で、国策研究会の活動が停止すると、新政研究会を組織するが、

新憲法公布・ 1946 = 47歳：_公職追放となり、解散。

独立回復・ 1951 = 52歳：_追放解除されると、

TV放送始・ 1953 = 54歳：*国策研究会を再建し、常任理事となり、岸信介に協力して活動。

自衛隊発足・ 1954 = 55歳：「昭和人物秘録」、

国連加盟・ 1956 = 57歳：「昔の労働爭議の思い出」、

なべ底不況・ 1957 = 58歳：_日華協力委員会設立。

インスクリプ・ 1958 = 59歳：「この人々 - 私の生きてきた昭和史」、

安保闘争・ 1960 = 61歳：

全国総合計画・ 1962 = 63歳：

全共闘に・ 1969 = 70歳：_日韓協力委員会設立。

ド・ショック・ 1971 = 72歳：_「昭和動乱私史」刊行を始め、

石油ショック・ 1973 = 74歳：_全3巻完結。

_大宅壮一をして「昭和最大の怪物」といわしめ、

貿易摩擦問題・ 1980 = 81歳：*回想録「東条英機とその時代」を出版して、

ディズニース・ 1983 = 84歳：_没した。

福田和也「日本国怪物列伝」、